

ブロックニュース原稿（横浜地区） 令和2年

横浜市立中学校教育研究会新聞教育研究部では、四年目となる研究テーマ「新聞制作を通して言語活動を活発にし、激動する社会への対応力と力強い心を育む」を活動方針として、さらに多くの学校で実践してもらえるよう様々な取組を発信しています。

昨年度の横浜市立中学校新聞コンクールでは、学校新聞と壁新聞の分野の参加校数や出展数は前年度と同じくらいでしたが、特に壁新聞の部では、優れた作品が多く出展され横浜地区全体のレベルの向上が見られました。

また、学校新聞の部では神奈川県中学校・高等学校新聞コンクールで、県知事賞、最優秀賞、県教育長、特別賞の入賞を果たし、全国小・中学校・PTA新聞コンクールでも三位入賞と努力賞受賞を果たすなど活躍することができました。これからも質の高い新聞制作ができるよう情報を発信し続けていきたいと考えます。

しかし、学級新聞の部の出展数は年々下がり続けており、昨年度は一桁台になり、過去十年で最も出展数の多かった2013年度の10分の1程度まで減りました。様々な要因が考えられますが、コンクールとしての存続に関わる問題として重くとらえ、今後多くの作品を出展してもらうための広報活動や新聞制作の基本講習会などの充実も図っていきたいと考えています。

本年度は、コロナウイルスの関係で総会が紙面総会に変更になり、研修会や講演会も中止となりました。しかし、一生懸命作品を作り続けている生徒、学校も少なくないので、その発表の場を確保するため、そして新聞制作の時間を確保するためにコンクールを二か月遅らせ1月に開催する予定です。また、安全確保のため表彰式は行わず、賞状を入賞校に送付する形に変更します。

<文責>横浜市立中学校教育研究会
新聞教育研究部会
会長 松岡 秀彦
(横浜市立港南台第一中学校長)